



令和4年度学校だより

5月28日

五福校 ごふくこう

No25

文責 本田

運動会をする意味は・・・

6年生の学校のリーダーとしての実践的な活躍の場 各学年にとっても集団でまとまっていく貴重な経験

運動会を春に実施するのは意味があります。昨年は春に実施する予定だったのを新型コロナウイルスの影響で秋に延期して実施しました。春の運動会は、まだ、入学して間もない1年生もいる中で、最上級生である6年生が、学校のリーダーとしての自覚を持って、下級生のお世話もしながら、運動会を成功させるという一大プロジェクトです。このプロジェクトを自分たちの手で作り上げていくことをとおして、最上級生として大きく成長していくという目標があります。それは他の学年にとっても一緒に、体力的なことだけではなく、みんなで運動会を作り上げていく活動を通して、友達と協力することの大切さやきつくても頑張っていくことの素晴らしさを学んでいくものです。運動会では、赤白に分かれて、勝敗にこだわりながらも、互いに「頑張れー!」と励まし合っています。集団演技も一人で踊るより大人数で踊る方が楽しく、パフォーマンスも高まることを実感できます。集団で演技をするからこそ、栄えます。こうしたことを通して、互いを尊重し合い、認め合えるのです。運動会には、こうした様々な教育的意義があるのです。よかったらそのような教育的意義を踏まえて子どもたちや先生方の頑張りを見ていただけたらありがたいです。

努力は足し算、協力は掛け算

協力することで、パワーが倍増されます!

努力は、一つ一つ足していくもの。足して積んだ分は消えない。毎日2ずつ3日頑張れば $2+2+2=6$ になります。では協力は? 例えば3人が2ずつ頑張れば $2\times 2\times 2=8$ 。4人なら $2\times 2\times 2\times 2=16$ になる。皆が協力すれば、個人の足し算では得られない力になります



表現は、みんなで心を一つにして作り上げていくものです。
みんなでやると楽しくパフォーマンスも高まります。



6年生は小学校最後の運動会を、思い出に残るようなものにするため頑張っています!
子どもたちの頑張る姿を通して、保護者の方々にもパワーを伝えられたらと思います。